



浅井市長、各
地域自治区長ら
が出席し行われ
た満了式

6 地域自治区 設置期間満了

さらなる発展を誓い満了式

新市誕生以来、合併特例法に基づき旧6町村の区域に設置された地域自治区は3月31日、その期間を満了し、同日、市役所本庁で満了式が行われました。

式には田野崎捷吾・花泉、小山人・大東、菊地宏雄・千厩、佐藤久耕・東山、小山寛・室根の各地域自治区長、千葉・葉・川崎地域自治区長は都合により欠席と、浅井市長ら三役、教育長、各部長、各支所事務長らが出席。浅井市長は「各地域自治区長には、市民の先頭に立って新市のまちづくりの礎を築いていただき、感謝申し上げます。今後一層、市民との協働の積極的な推進と一体感の醸成を図り、市の発展に努めたい」とあいさつしました。

各地域自治区長は「市町村は民主主義の学校といわれる。住民が民主主義を勉強できるような歩みを一歩野崎氏、「職員が市民への思いやりの心を一層持つて、協働のまちづくりに向けた取り組みを」(菊地氏)、「12万余の市民が心を一つにして、市が大きく飛躍するよう願う」(佐藤氏)、「この2年半は合併のソフトラッキング期間。合併にバックギアはない。一層の前進を」(小山氏)など、在任期間を振り返りながら、今後のまちづくりへの期待を述べました。

20年度予算



人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり

| 事務事業名 | 予算額(万円) | 内容 |
|-----------------------------|---------|---|
| 【豊かな心をはぐくむ「教育立市」の実現】 | | |
| 外国語指導助手配置事業 | 3727 | 中学校での英語教育、小学校での国際理解教育を充実 |
| 特別支援教育推進事業 | 2026 | 特別支援教育の充実を図るため、特別支援コーディネーター・学校サポーターを配置し、特別な教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒に対し支援 |
| 学びの支援員配置事業(新規) | 739 | 児童の学力向上のため小学校に学びの支援員を配置し、きめ細かな学習指導や家庭学習の指導、支援を実施 |
| ことばの力を育てる研究事業(新規) | 602 | ことば(言語)の力の向上を中心とした「確かな学力」を育成するため、小学校の推進校3校で実践研究に取り組み、その成果を市内に広く普及 |
| ことばを大切に作る事業(新規) | 54 | ことばの地元学講座を実施 |
| 統合大原小学校建設事業 | 3億4105 | 22年4月開校予定の大原小と内野小の統合小学校整備 |
| 東山中学校屋内運動場改築事業 | 3億 88 | 東山中の屋内運動場改築工事 |
| 山目小学校屋内運動場改築事業 | 3億 730 | 山目小の屋内運動場改築工事 |
| 校舎等耐震補強事業 | 3億5262 | 市内の小中学校施設の耐震補強工事および実施設計など |
| 文化創造施設整備事業 | 3億5252 | 22年度東山町内に開館予定の地域交流センター(文化センター、公民館、図書館機能の併設施設)施設整備 |
| 川崎中学校整備事業 | 8923 | 川崎中整備に伴うグラウンド整備 |



人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり

| 事務事業名 | 予算額(万円) | 内容 |
|----------------------|---------|--|
| 【地域おこし等】 | | |
| 地域振興基金積立金(新規) | 5億 | 市民参画、市民主体のまちづくりを推進するための事業の財源とする基金を造成 |
| 移動通信用鉄塔施設整備事業(新規) | 1億 | 携帯電話利用不可地域に鉄塔などを整備し、携帯電話事業者などへ貸し出すことで情報格差の是正を推進 |
| 地域おこし事業 | 1億4400 | 地域や市民が主体的に取り組む、人材おこしや産業おこしの活動を支援 |
| 一ノ関駅及び周辺地域整備調査事業(新規) | 1000 | 磐井川堤防改修に伴う公共施設の再配置を検討するに当たり、一ノ関駅および周辺地域の機能充実を中心とした整備を調査、検討 |
| 【道路網の整備等】 | | |
| 道路整備事業 | 7億9596 | 市道の開設改良(51路線)、舗装新設(30路線) |
| 道路・橋りょう維持補修事業 | 4億 404 | 道路側溝の修繕、橋の耐震補強など(192路線) |
| 各地域を結ぶネットワーク網の整備 | 6億3700 | 流通団地金沢線・清水原一関線、大原浜民線、石堂構井田線、寺田下流通団地線などの幹線道路を整備 |
| 駅前前堀線道路改良事業 | 2億5000 | 一ノ関駅東口へのアクセス向上を図る街路を整備 |



水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり

| 事務事業名 | 予算額(万円) | 内容 |
|-------------------------|---------|---|
| 【環境施策等】 | | |
| 地球温暖化対策事業(新規) | 158 | 講演会の開催などにより地球温暖化対策の必要性を周知 |
| ポイ捨てのないきれいなまちづくり事業(新規) | 32 | 「一関市ポイ捨てのないきれいなまちづくり条例」の周知と、環境美化意識の啓発 |
| 協働でつくるきれいなまちづくり推進事業(新規) | 39 | 市民団体などが実施する公共施設の美化活動を支援 |
| 簡易水道整備事業 | 12億1785 | 厳美・萩荘、大原、磐清水・奥玉・小梨、川崎簡易水道などの配水管や浄水施設を整備 |
| 下水道整備事業 | 17億1225 | 一関、花泉、大原・摺沢、千厩、東山、川崎の各処理区の汚水管や処理施設を整備 |
| 浄化槽設置整備事業 | 2億 185 | 合併処理浄化槽設置に対する補助や市設置型による浄化槽整備を実施 |

協働のまちづくり

5事業に取り組みます

市は本年度、市民との協働によるまちづくりを一層推進するため、多くの自治体で住民自治や市民協働の政策アドバイザーを務める、櫻井常矢高崎経済大学地域政策学部准教授の指導の下に、次の五つの事業に取り組みます。

- ①職員研修**：住民の主体的なまちづくり活動の支援などを担える市職員を育成するため、全職員を対象に研修を行います。
- ②ワークショップの開催**：市民の協働活動の拠点として設置された「いちのせき市民活動センター」に応募した市民と市の協働担当職員により、協働のまちづくり推進のモデルケースとしてワークショップを開催します。
- ③希望コミュニティとの意見交換**：コミュニティ活動に取り組む自治会などで希望する団体を対象に、講師に現状や課題を把握いただき、適切なアドバイスを受けるための意見交換を行います。
- ④地域市民研修会**：各地域の自治会長などを対象に、協働のまちづくりに関する講演会を開催します。
- ⑤地区市民懇談会**：地域コミュニティの活性化や協働のまちづくりについて、市内30カ所の会場に協働担当職員が伺い、懇談会を開催します。

◎問い合わせ先
本庁協働推進課協働推進係
☎08671

組織機構見直し

協働推進課設置など

市は、地域自治区の設置期間満了や新たな行政課題に対応し行政サービスの一層の増進を図るため、組織機構の一部を見直し、本年度から次のとおりとしました。

- ①協働推進課を設置**：市民との協働によるまちづくりを一層進めていくため、本庁地域振興課を廃止し、新たに▽協働推進係(協働のまちづくり、コミュニティ
- ②一関保健センターの見直し**：従来の健(検)診や保健指導に加え、本年度から始まる生活習慣病予防のための特定健康診査、特定保健指導に対応するため、
- ③支所総務課と地域振興課を統合**：各支所の総務課と地域振興課を統合して地域振興課とし、同課を地域協働、総務管理の3係体制としました。

なお、地域自治区の設置期間満了に伴い、▽支所事務長を支所長▽支所事務次長を支所次長にそれぞれ改めました。

◎問い合わせ先
本庁職員課人事給与係
☎08186